

## 2. 総合計画の進行管理

### 2.1 進行管理の考え方

#### (1) PDCA サイクルの実践

本計画の実効性を担保するためには、適切な進行管理が必要です。進行管理にあたっては、本計画（Plan）の内容に基づいて各種取組を推進（Do）し、評価・検証（Check）を継続的に実施する必要があります。また、必要に応じて計画の改善や見直し（Action）を行い、その結果に応じて改めて計画を立案（Plan）していくことが重要です。

本計画は、こうしたPDCAサイクル（“P”：Plan→“D”：Do→“C”：Check→“A”：Action）の考え方に基づいて進行管理を行っていきます。



図 PDCA サイクルのイメージ

#### (2) 計画の構成に合わせた進行管理

本計画は、「1.5(1) 総合計画の構成」に示したとおり、基本構想と基本計画の大きく2層構成となっており、基本構想部分は12年、基本計画部分は前期・中期・後期の4年毎となっています。そのため、進行管理にあたっては、基本構想と基本計画の2段階で実施することとします。

## 2.2 進行管理体制

本計画の評価・検証にあたっては、学識経験者や公共的団体等の役員、市民委員等で構成される総合計画審議会が中心的な役割を担います。

加えて、庁内には、市長、副市長、教育長及び各部署の部長級が参加・運営して総合計画全体の進行を管理する「検証委員会（仮）」及び課長級が参加・運営して「目指すまちの姿」別に各種施策の進行を管理する「目指すまちの姿別検討会（仮）」を設置し、総合計画を体系的に進行管理できる体制を構築します。

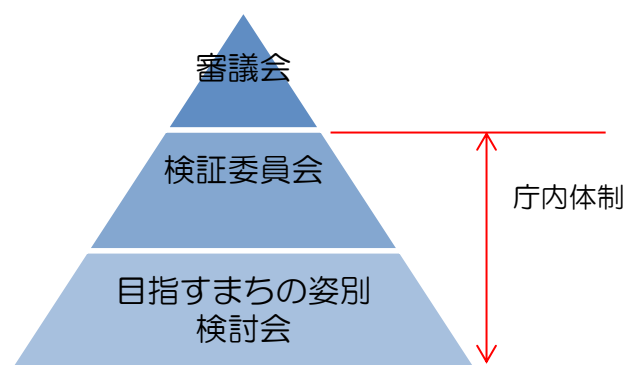


図 第2次宇陀市総合計画の進行管理体制

### (1) 審議会の構成

本計画が順調に進行しているかについては、関係主体毎に捉え方が異なることも考えられます。そのため、様々な視点を有した委員で構成される宇陀市総合計画審議会において、総合計画に基づく施策の取組状況及び成果を客観的に検証します。

表 宇陀市総合計画審議会の構成

構成	委員の構成（平成30年度時点）
行政委員会の委員	・教育委員会 ・農業委員会
公共的団体等の役員	・都市計画審議会 ・宇陀商工会 ・宇陀市観光協会 ・宇陀市社会福祉協議会 ・宇陀市女性の会 ・宇陀市森林組合 ・宇陀市人権教育推進協議会 ・宇陀市民生児童委員連合会 ・宇陀市連合自治会 ・宇陀市老人クラブ連合会 ・宇陀市PTA協議会 等
学識経験者	・奈良県立大学 ・奈良テレビ(株) ・(株)南都銀行榛原支店
その他市長が必要と認める者	・市民委員

### (2) 検証委員会（仮）及び目指すまちの姿別検討会（仮）の設置

庁内には、市長、副市長、教育長及び各部署の部長級が参加・運営して総合計画全体の進行を管理する「検証委員会（仮）」を設置します。また、下部組織として所属長が参加・運営して「目指すまちの姿」別に各種施策の進行を管理する「目指すまちの姿別検討会（仮）」を設置します。総合計画を体系的に進行管理できる体制を構築し、評価・検証を行います。

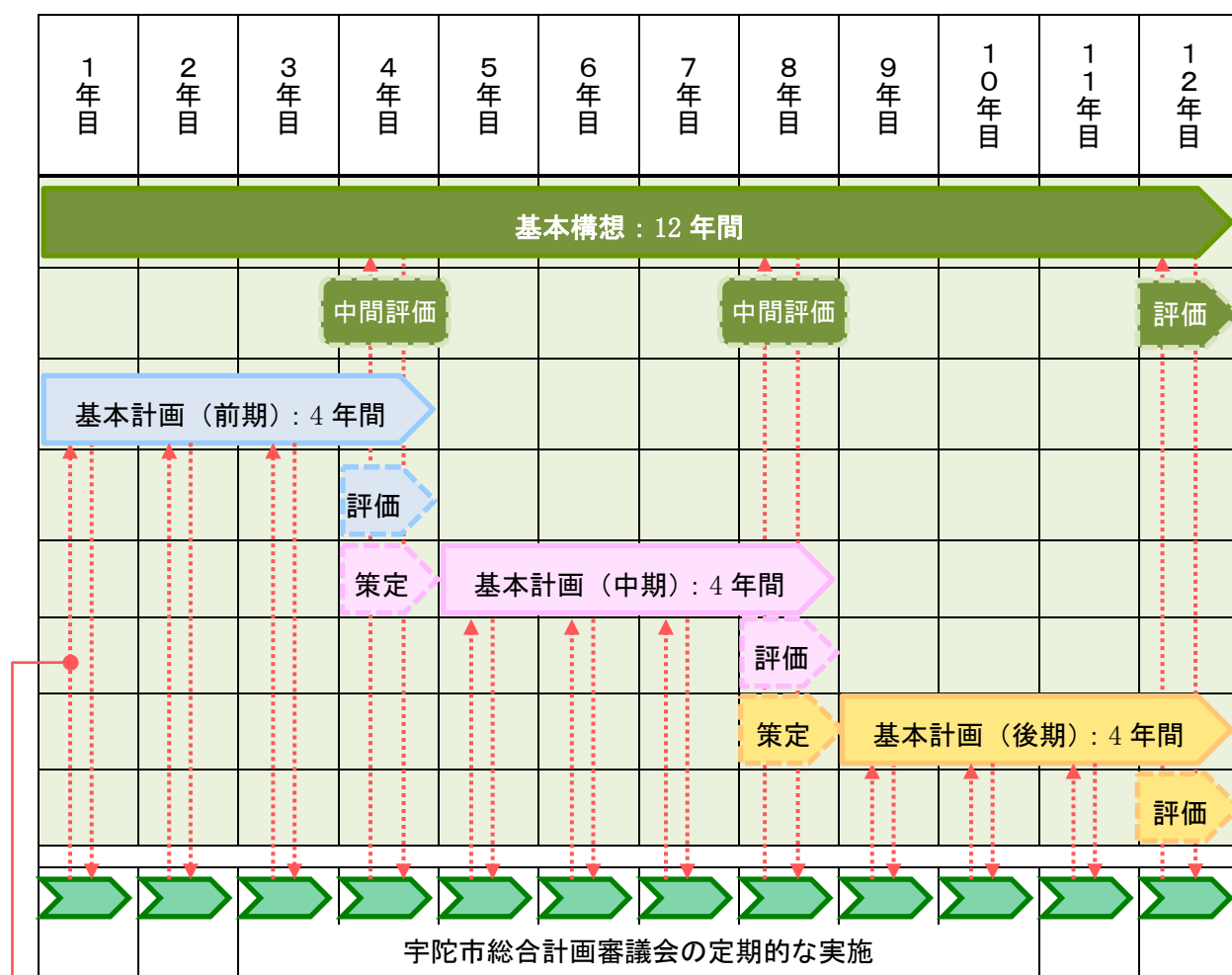
### 2.3 進行管理のスケジュール

「2.1(2) 計画の構成に合わせた進行管理」の考え方に基づいて、基本構想と基本計画のそれぞれについて進行管理を行います。

基本構想については、新たに基本計画が策定されるタイミングで中間評価を行います。

基本計画については、「施策」において細やかな対応を可能とするために、1年ごとに「施策」についての進捗状況の確認を実施します。

なお、総合計画は長期にわたる計画であるため、予想を超えるような社会経済情勢の変化等により、本計画の通りに進行が困難な場合や本計画の内容が時代潮流にそぐわなくなることも考えられます。そのため、必要に応じて計画内容の検証及び内容の見直し等を行います。



宇陀市総合計画審議会での検証・審議による進行管理

図 総合計画の進行管理のスケジュール

## 2.4 評価方法

本計画の進行管理にあたって、評価項目及び評価指標、評価方法は下表のとおりです。

4年に1度評価を実施する基本構想については、「目指すまちの姿」がどの程度実現できているかを評価します。

毎年評価を実施する基本計画については、「施策」の進捗状況の評価します。

表 基本構想及び基本計画の評価方法等

	評価項目	評価指標	評価方法
基本構想	「目指すまちの姿」の実現度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目指すまちの姿」に対するアウトカム指標</li> <li>・市民等に対するアンケート結果における満足度</li> <li>・「施策」進捗状況</li> </ul>	<p>左記3つの評価指標を用いて総合的に判断し、I～Vの5段階で評価</p> <p>I：目指すまちが十分に実現できている。</p> <p>II：目指すまちが概ね実現できている。</p> <p>III：目指すまちがある程度実現できている。</p> <p>IV：目指すまちがあまり実現できていない。</p> <p>V：目指すまちが全く実現できていない。</p>
基本計画	「施策」の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「施策」に基づいて実施されている事業<sup>(※)</sup>のうち、当初の計画どおり進捗している事業の割合を基に点数化</li> </ul>	<p>各事業を目標値に対する実績値の割合を算出し、点数化する。</p> <p>(宇陀市独自の取組で評価できる事業の目標値を掲げるものとし、法定受託事務で行っている事業は除く。)</p> <p>【実績値/目標値により点数化】</p> <p>a：80%以上は4点</p> <p>b：60%以上80%未満は3点</p> <p>c：40%以上60%未満は2点</p> <p>d：20%以上40%未満は1点</p> <p>e：20%未満は0点</p> <p>次に施策の下部事業の平均値を、施策の総合評価とする。</p> <p>A：(3.5点以上) →施策が十分に実現できている。</p> <p>B：(2.5点以上3.5点未満) 施策が概ね実現できている。</p> <p>C：(1.5点以上2.5点未満) 施策がある程度実現できている。</p> <p>D：(0.5点以上1.5点未満) 施策があまり実現できていない。</p> <p>E：(0.5未満) 施策が全く実現できていない。</p>

※：評価にあたっては、「施策」の評価対象とする事業の一覧である「事業進捗管理シート」を作成